

昭和 40 年

# 国勢調査報告

第 1 卷

人口総数

1965 POPULATION CENSUS OF JAPAN

VOLUME I

TOTAL POPULATION

総理府統計局

Bureau of Statistics

Office of the Prime Minister

N334.61  
N618 (65)K1

## ま え が き

昭和40年10月1日を期して行なわれた昭和40年国勢調査は、国民各位の多大のご協力を得て無事終了し、現在、その結果を鋭意とりまとめ中である。

国勢調査は、大正9年以来、5年ごとに、ほぼ定期的にくりかえし実施されている国の最も基本的な統計調査であるが、とくに今回の国勢調査は、第1回の調査から数えて第10回目にあたる記念すべき調査である。

国勢調査は、全国は申すまでもなく、各都道府県および各市町村の人口のくわしい状況を明らかにし、雇用、住宅、社会保障、衛生、交通など各種行政上の諸施策の立案・実施のための重要な基礎資料をうることを目的として行なわれるものである。とくに近年におけるわが国人口の動向に注目すると、その増加は安定化の傾向をたどっているが、反面、都市への集中化や農村からの流出などの人口の地域移動は、きわめて激しいものがあり、人口の地域的分布や構造は、いちじるしく変動している。このような人口移動の激化は、ご承知のとおり、過密都市化、地域的な労働力不足など、経済的社会的な諸問題をひき起こしており、これに対する諸施策が急がれている。国勢調査は、このような諸施策の効果的な立案・実施のために欠くことのできない資料を提供するものである。このため、今回の国勢調査では、全国の約49万人の国勢調査員に調査の実施にあたっていただくとともに、画期的な集計方法を採用して、結果を迅速に集計し公表することになっている。

この報告書は、昭和40年国勢調査の結果のうち、全国、都道府県および市区町村の人口総数にかんする統計表を集録したものである。人口の各調査事項別結果は、全数集計、1%抽出集計および20%抽出集計の方法により現在進行中で、第2巻～第6巻として、集計完了しだい巻を追って刊行することとしており、現在、すでに第4巻のうち1部のものは刊行済みである。

なお、この報告書には、上記の人口総数のほかに、全国、都道府県および市区町村の面積をも掲載したが、これは、もっぱら建設省国土地理院の好意によるものである。

ここにこの報告書を刊行するにあたり、今回の国勢調査の企画・実施の段階から結果の集計・編集にいたるまでの間、一方ならぬご協力をいただいた数知れぬ関係の方々に心から感謝の意を表する。

昭和41年8月

総理府統計局長 野 田 章